兒雷也豪傑譚（じらいやごうけつものがたり）上の巻 廿四篇

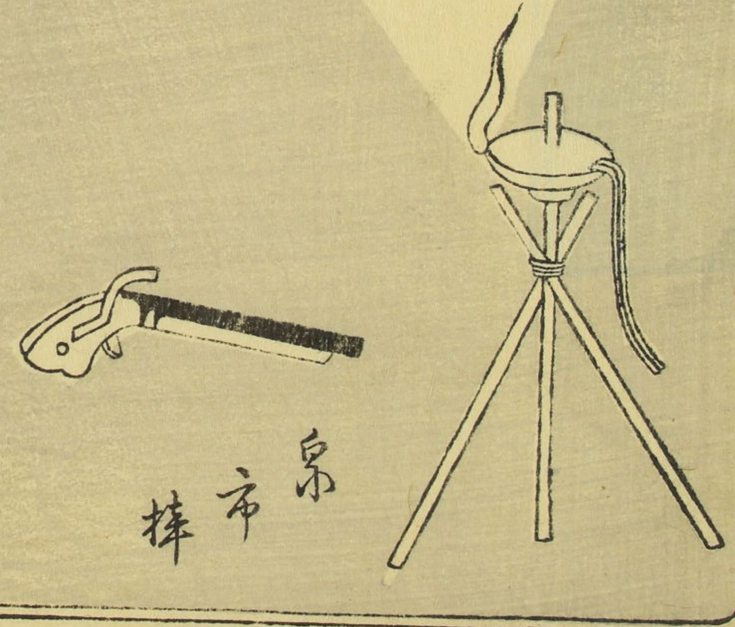
へ13
3878
47

門へ13
號3878
巻47

兒雷也豪傑譚

上巻

柳下亭作
一壽斎画



泉市梓

或曰此稗史ハ大蛇丸ガ蛞蝓の短歌を恐る事あり又兒雷也ガ鱗形の大刀を忌由を作まろ一書中ハ同趣向のあるハ如何と難問されしを予應之て曰水滸傳ハ姦夫淫婦を戮せる話両談あり武松石秀等の傳是なり源氏物語ハ閨房ニ潜びて別人とちぎる吏両談あり光君ガ空蟬の臥床ニ忍のびく軒場荻とくさらふと旬宮ガ宇治の大姫の妹所へ潜びく中の君と契りくるるハ是なり彼ハ唐山無類の小説此ハ皇朝ハ無双物語それ〳〵同條を出せり況無根野乗争避忌ニ〻ゑんと言訳ハ拙き著述ハ對し源氏水滸の二書を引ハ雑を調理ハ牛カを用の常言ハ未也雀を射ハ鎮西の御曹子を請九尺二間の家を造ハ飛彈の内匠を雇ハ等とらちく笑ハ客も示ともに咲ふく餘談ハ尽ぬ

嘉永甲寅新春

柳下亭種員記

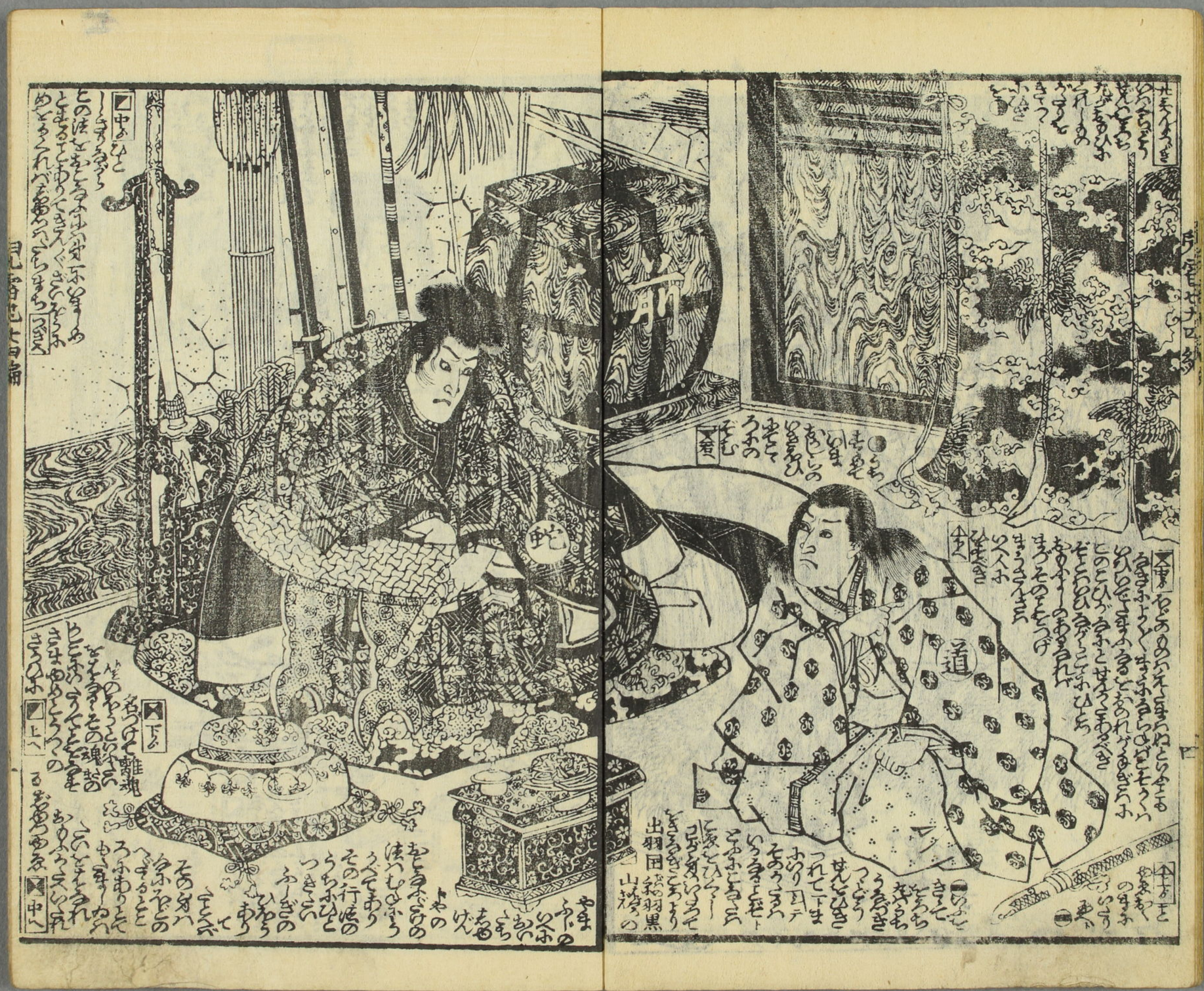
雨田甚三郎
実ハ兒雷也

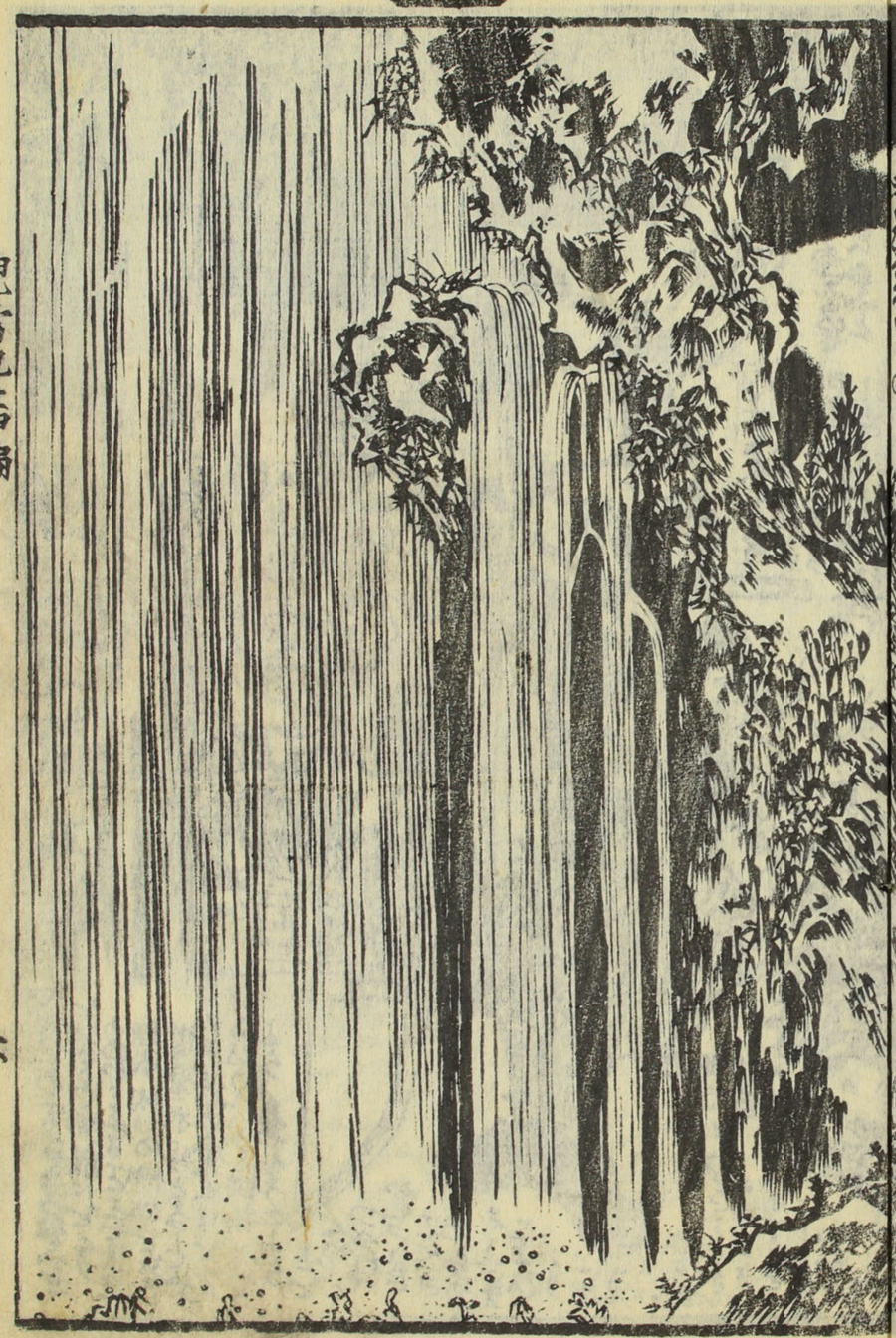
今市
全右
工門

於花
酒染
牧七

勇婦
綱手

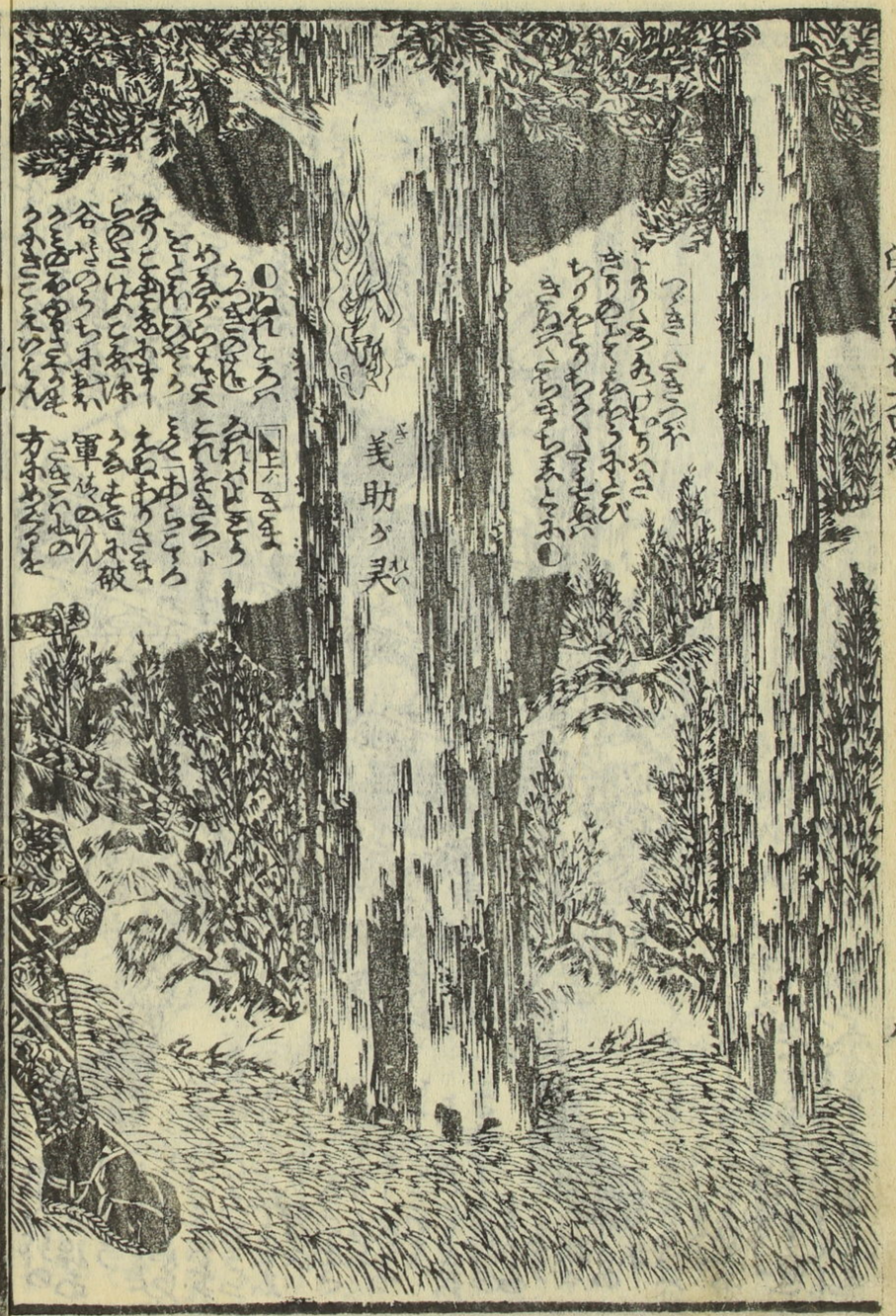
岩倉
道全


前
蛇
道



大蛇丸信濃國高井郡の山奥なる龍王が瀧ふ離魂の法を修する体

蛇
勇



義助が矣

於哲が矣

つぎはぎ
雷也九四編
九

雷也九四編
十九

種員作國輝画

浄書 青洲

一 兒雷也豪傑譚 四拾弐篇

一 休草紙 拾五篇

一 風俗淺間嶽 拾四篇

一 黄金水大盡盃 拾七篇

書肆 地本問屋

芝神明前 和泉屋 市兵衛

銀座四丁目 同 支店